

共謀罪と ゲートキーパー法に レッドカード

弁護士を
警察への密告者に仕立てる
ゲートキーパー法
いま、何が…

コメンテーター



大谷 昭宏さん
(ジャーナリスト)



江澤 伸子さん
(角川書店 出版事業部)



海渡 雄一さん
(日本弁護士連合会)

主催 日本弁護士連合会
近畿弁護士会連合会
大阪弁護士会
京都弁護士会
兵庫県弁護士会
滋賀弁護士会
奈良弁護士会
和歌山弁護士会



【交通手段】
・地下鉄・京阪「淀屋橋駅」1番出口より徒歩10分
・地下鉄・京阪「北浜駅」より徒歩10分
・地下鉄「南森町駅」2番出口より徒歩10分

2006

7/14 (金)

開場 pm5:30
pm 6:00~9:00

大阪弁護士会・本館6F
大阪市北区西天満2-1-2

共謀罪とゲートキーパー法に
反対する市民集会

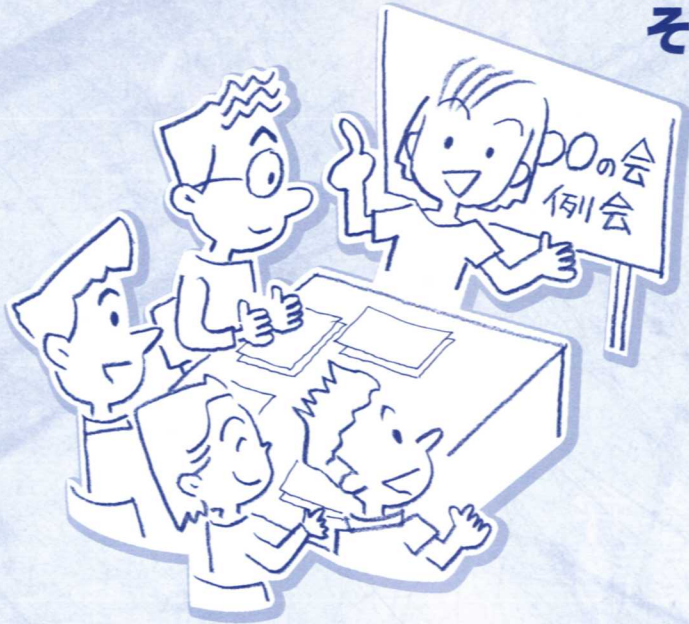
入場無料

連絡先 近畿弁護士会連合会(担当 西村) TEL 06-6364-1227

「しばいたるか…」 犯罪に…

こんななにげない関西弁でも

「話し合っただけなのに…」しかし、 それが **共謀罪**！



「共謀」とは複数の人間が意を通じること。
仕事でも、サークル活動でも、いろいろなことが話し合われたり連絡しあったり…

「共謀罪」は、相談しただけで「処罰する」という法律です。
でも…

日本の犯罪と刑罰の原則は、「行為と結果」を処罰し、何も行動してなければ、「意思や内心」は処罰しません。その原則を完全に変えようというのが「共謀罪」の新設です。話したり、相談したことをどうやって証拠にするのでしょうか。盗聴や、密告、自白強要が横行しかねません。

政府は、テロ対策のためといっていますが、警察監視の市民生活はごめんです。

「依頼者の秘密を守る それが弁護士」しかし、 ゲートキーパー法で、 依頼者を警察に 密告させる？



冤罪の温床、代用監獄に 世界の批判が…

『ダイヨウカンゴク』が世界語になっているのはご存知ですか。

警察のもとには、被疑者、被告人を収容しない…これが被疑者収容の世界的原則です。24時間取調官の手元に置くことが、『自白の強要』『冤罪の温床』になるからです。日本の警察留置場が『代用監獄』と批判されてきたのは、この原則に反するからです。監獄法改正でも廃止されず、存続。世界的批判の的に…、一日も早く廃止を！

弁護士に何でも相談できるのは、必ず秘密を守ってくれるから…これが守秘義務です。

ゲートキーパー（門番）法は、弁護士に対し、依頼者に黙って、マネーロンダリング（資金洗浄）の「おそれ」を「見つけ」警察に「密告」せよという制度です。

「おそれ」というあいまいな要件では、守秘義務が守れなくなります。又、「密告」義務は、警察とたたかえない弁護士をつくります。

依頼者も、弁護士も、おちおち相談もしてられません。

これでは弁護士と依頼者の信頼関係など、つくれません。

アメリカではこのような制度は準備していません。

カナダでは、裁判所が立法を取り消しました。

日本弁護士連合会は、日本の弁護士制度の根幹をゆるがすものとして、反対しています。